

学位論文審査の結果の要旨 (課程を経ない者)

学位論文審査申請者氏名	三樹和博
学位論文名	変更前 メダケ属植物における分類形質と分布域により示唆される種分化の方向性 変更後 日本産メダケ属植物における形質と野外観察にもとづく分布の把握と分類

学位論文審査終了年月日	学位論文審査の結果	
令和 5年 6月 29日	合格 不合格	
学位論文審査の結果の要旨は次ページ以降 (別紙記載要領により作成のこと。)		
学位論文審査委員	主査(自署) 大久保達弘	副査 國府方 吾郎
	飯塚 和也	逢沢 峰昭
	吉川 正人	小林 幹夫

※予備審査を受けた学位論文の受理決定日		令和5年5月12日
学位論文審査申請受付日	令和5年5月26日	※予備審査委員氏名 大久保 達弘 國府方 吾郎
学位論文審査委員の選出	令和5年5月12日	
学位授与の可否の議決 (可・否)	令和5年8月1日	

学位論文審査の結果の要旨

三樹和博

本学位論文は、日本列島に多くの固有種をもつイネ科タケ亜科のササ類6属中のメダケ属植物3節に関する包括的研究で、各節における未解明の課題について検討した。ネザサ節植物は、富山県の分布域を規定する生態的要因として積雪深（約60cm）が関係することを見だし、また自生地の分枝パターンの相違からフォッサマグナ地域を境界としてネザサ節植物が東西に二分されることを明らかにした。さらにその分布北限は、北海道南部室蘭市のアズマネザサ分布北限地を確定し、ササ属とメダケ属の属間雑種とされるアズマザサ属2種を含むササ類相が同所的に分布することから自生分布と推定した。次にメダケ節植物における推定交雑種エチゴメダケについて、新潟県における分布域と各部形態の中間的形質からヤダケ（ヤダケ属）とアズマネザサ（ネザサ節）の雑種起原であると推定した。さらにリュウキュウチク節植物のうち沖縄県西表島に分布するゴザダケザサの実態に関して、外部形態と生育環境の分化より、他のリュウキュウチク節の種とは判別可能な種であることを見出した。以上の結果から、メダケ属3節の現生種の外部形態と分布域から推定される種分化は、人為的影響、環境要因、栄養繁殖による分布域の拡大によってもたらされたものと結論づけた。本研究成果は、従来のメダケ属植物の形態、分布、生態などに新たな知見を加えた点で学術的貢献が非常に高いものと評価された。なお論文審査の過程で、論文名と論文内容の整合性について議論がなされ、論文内容をよりの的確に表した論文名として、以下の通り変更することが承認された。変更前：「メダケ属植物における分類形質と分布域により示唆される種分化の方向性」、変更後：「日本産メダケ属植物における形質と野外観察にもとづく分布の把握と分類」

以上のように、本論文は、多くの新しい知見を有すること、論文の内容、構成及び公表論文数などから、本学位論文審査委員会は、全員一致して、本論文が博士（農学）の学位論文として十分価値があるものと判断し、合格と判定した。